

令和7年度 湘南キャンパス建築都市学部入門ゼミナールBでの出前授業 報告

望星技術士会 藤田 孝康

1. 日程 :

令和 8年 1月 20日 (火)

2. 時間 :

17:15~18:55 (5限目)

3. 場所 :

東海大学湘南キャンパス
19号館 311号教室

4. 参加者

- ・東海大学教員：三神 厚教授
- ・東海大学学生：80名
- ・望星技術士会：齋藤寛氏、庄司大介氏、竹内章裕氏、宮下泰成氏（体験記）、笠原勉氏、綿貫啓氏、永井和典氏、藤田孝康

5. 目的・概要

湘南キャンパスでの出前授業は、建築都市学部入門ゼミナールB（必修科目）のうち、1コマの講義を望星技術士会が担当し、学生に技術士の有用性や有効性を知ってもらい、より多くの学生に技術士補取得を目指して貰うことを目的としている。なお、望星技術士会の参加は、令和 2年度から実施しており、本年で 6年目である。

6. 講義

講義の概要は、以下のとおりである。

17:15~17:20 : 三神教授より趣旨説明（写真1）
17:20~17:35 : 齋藤氏より、望星技術士会および今後の講義概要を説明。技術士制度や土木分野の資格、技術士資格の有用性、技術士一次試験の概要等を説明（写真2）。

17:35~18:00 : 庄司氏より、建設コンサルタントと技術士の位置づけ、勤務先企業での技術士の仕事や実績、経験等を説明（写真3）。

18:00~18:30 : 竹内氏より、技術系公務員と技術士の位置づけ、技術系公務員の仕事や神奈川県・河川行政の取組について説明（写真4）。

18:30~18:50 : 宮下氏より、技術士試験への挑戦、勉強方法、合格後の活用方法等について説明（写真5）。

18:50~18:55 : 綿貫氏より、望星技術士会の活動や学生へのエールを話していただき、閉会した（写真7）。



写真1 趣旨説明 (三神教授)



写真2 講義概要 (齋藤氏)



写真3 建設コンサルタントと技術士 (庄司氏)



写真4 技術系公務員と技術士（竹内氏）



写真5 受験体験談（宮下氏）



写真6 講義風景



写真7 最後に（綿貫氏）

7. 雜感、メッセージ

以下にそれぞれの雑感、メッセージを記す。

（1）齋藤講師

技術士資格の本学における認知度は、いまだ低い状況です。今回も土木工学科の皆さんに技術士制度と第一次試験の概要をお話ししました。在学中から技術士資格取得意識が高まれば、将来の技術者として成長可能性が大きく広がるものと期待しています。

（2）庄司講師

「建設コンサルタント」という職業がどういうものかが学生の皆さんには浸透していないため、実体験も踏まえてイメージしやすいようにお話ししました。また、仕事をしていく中で、技術士を始めとした資格がとても有用であることについて講義しました。受講された皆さんに、建設コンサルタントも就職の選択肢に入れて貰えると有り難いですし、多くの技術士が誕生することを期待します。

（3）竹内講師

住民生活や地域経済を支えるインフラの整備や維持管理は、誇りを持って取り組めるやりがいのある仕事です。どの分野に進むにしても資格取得は仕事を進めていく上での大きな力となり、自らの成長につながっていきます。学生の皆様には大いに期待しています。

（4）宮下泰成（体験記）

学生のうちに技術士補に挑戦することのメリットや、どのように学習を進めてきたのかについてお話ししました。今回の内容が、受講した学生の皆さんに将来を考えるきっかけとなり、技術士補に挑戦する学生が増えていけば嬉しく思います。

（5）綿貫講師（最後に）

技術士一次試験に合格すると、社会に出てから未取得者と大きなキャリア差が生まれます。過去問を五年分以上学べば合格は十分可能です。技術士の理念は松前重義先生の思想が基盤です。その教えを継ぐ皆さんの挑戦と活躍を期待しています。今から準備を始め、一步を踏み出してください！

〔謝辞〕

今回の激励会に際して、ご理解及びご協力を頂きました土木工学科の三神教授に、改めて心より感謝申し上げます。

以上